

昆虫がたくさんやってきます。むしろ、周囲の化学肥料・化学農薬漬けの田畑から逃れるように大量の雑草・昆虫が疎開してくる。作物は虫に食われ、畑には草がぼうぼう……。一見とても悲惨な畑に見えますが、実は収穫率の最終比較をしてみると現代農法の田畑に負けないばかりか上回ったりするケースもあります。この、自然を人為的に作り変えるのではなく自然にあるがままに共生することでお互いに生きていく隙間を大事にしあう発想に触れることで、彼女の中の何かが変わり始めました。

そこからの G さんは、本当に生まれ変わったように積極的に活動を開始しました。日本の自然農法の創始者であり第一人者である福岡正信氏に連絡を取って、四国まで訪問しようとしたところ、折悪しく福岡氏が東南アジアに農法の指導に出かけるところでかなわず、代わりに第一の後継者である川口由一氏を紹介してもらいます。川口氏は奈良と三重の県境に赤目自然農塾を開き、全国の実践家と連携を取って普及活動を行っている方でした。G さんは早速奈良まで訪問、深く感銘を受けて関連文献を読み進め、休日にはたびたび赤目塾を訪れて実際の普及活動に参加させてもらいました。ちょうど彼女が訪問中に NHK スペシャルの TV クルーが自然農の番組制作のために撮影に訪れていて、さりげなく番組に登場したりしています。地元茨城県でも自然農を推進しようとしているグループをみつけ、連絡をとり、収穫に参加させてもらいながら、現実にはどのような問題が立ちはだかるか、困難に勇気を持って立ち向かうということはどういうことなのかを、ひとつひとつ噛んで含むように自分の中に積み重ねていったようです。

田代 淳一

たしろ じゅんいち

茗溪学園中学・高校 教務部長



化学の教師です。茗溪学園では前向きで明るく逞しく積極的な青年が育っています。

「有名大学に行きたいから勉強する」のではなく、「中学・高校時代にいろいろな事に挑戦し、失敗し、考え、自分を探して、自分で自分の将来をみつけ、自分で歩いていく。その方向が地球を救い、人類の未来を拓く方向であってほしい。」そう考え、支援するのが茗溪学園の教員の役割です。

海外生・帰国生が自分の力で自分の未来を切り拓いてきた経験はここで開花します。これまでたくさんの帰国生が、夢を追いながら進学していく姿を見て応援してきました。

よろしくお願いします。

G さんの最後の煩悶は、1 年間の体験と学んだことをどうやって論文化するのかということでした。書きたいことがたくさんあるようで、何も書けないような気もする。章構成も何度も何度も立て直し、少し書いては削除し、また書いては削除し……。締め切り前の彼女のイライラは頂点に達していましたが、敢えて手を差し伸べませんでした。彼女はもうすでに、自分で乗り越える Skill を持っているからです。結果は、とにかく書きたいこと言いたいこと残したい写真をすべて詰め込んで、体裁よりも自分の心のままに書き綴って提出してきました。資料をたくさん挟み込んだ分厚いファイルとなって。

G さんは家庭の事情で自宅から通える大学しか選択できなかったのも、最も自宅に近い農学部である茨城大学農学部に進学しました。多分、全国の農学部の学生の中で最も絵画、特に油彩の才能に秀でた学生だったはずですよ。

☆

Study Skills の中高時代の総決算である個人課題研究への研究過程で、自らの力で価値観を変容させ、自らの生き方でも変容させていく。その方向が地球や人類への深い愛情を示す方向であって欲しい。いつも Skill の指導をしながら願っていることです。この G さんの例は別に特殊なケースではありません。モンゴルまで植林に行った生徒、樹医に随行して樹木の治療を実地体験しその後も森林保護の仕事が続いている卒業生、現代人の疎外感と精神疾患を研究して産業医として地道に人々を救っている卒業生。

個人課題研究で Skill を駆使しながら、自分の基盤となる価値観や認識を自分で変容させていく。その場に立ち合わせてもらえるのは教育者として最高の幸せです。

茗溪学園中学校高等学校

〒305-8502 茨城県つくば市稲荷前 1-1

TEL. 029(851)6611 (代) FAX. 029(851)5455

www.meikei.ac.jp

編集長から一言

茗溪学園のユニークな「個人課題研究」の事例報告の続きです。G さんの 1 年以上にわたる心の変化さえ見えてきます。

茗溪学園の Study Skills の学習（トレーニング）は、そのスキルを使って、論文という成果品を完成させなければなりません。スキルと言うと技術的な側面が強調されますが、完成させるには知的体験や思考が必ず含まれます。G さんの体験と思考の変化、田代先生のいう「変容」までを、高校生に経験させる「個人課題研究」プログラムは、本当に素晴らしいものです。それを指導する先生方に、脱帽します。